

# 令和8年1月市議会臨時会 建設水道委員会資料

## 第1号議案 令和7年度長崎市一般会計補正予算（第7号）

目 次	ページ
[第8款 土木費 第5項 都市計画費]	
第1目 都市計画総務費	
公共交通運転土確保等支援費補助金	2～5
繰越明許費補正	6
【単独】都市交通対策事業費補助金 公共交通バリアフリー車両導入	7～12
繰越明許費補正	13

まちづくり部  
令和8年1月

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項目	目	番号		
24~25	8 土木費	5 都市計画費	1 都市計画総務費	1-2	公共交通運転士確保等 支援費補助金	千円 30,168

## 1 事業概要

燃油価格高騰等により、公共交通事業者の経営は厳しい状況が続いている中、今後も運転士を継続して確保することによって、路線バスの減便や最終便の繰上げなどの公共交通のサービス低下を抑制するため、交通事業者が行う二種免許取得助成や採用活動、職場環境改善に対して費用の一部を補助するもの。

## 2 事業内容

### (1) 公共交通運転士確保等支援費補助金 30,168千円

ア 対象者 長崎市内に本社を有する乗合バス、路面電車及びタクシー事業者

イ 対象事業 二種免許取得助成事業、採用活動事業及び職場環境改善事業

ウ 予算内訳

区分	予算額	内訳
補助金	千円 9,000	<p>【二種免許取得助成事業】</p> <p>【対象経費】 事業者が負担する従業員の二種免許取得費用</p> <p>【補助率】 1/2 (上限:バス200千円/人、タクシー100千円/人)</p> <p>【申請見込】 70人分 (バス20人、タクシー50人)</p>
	千円 10,584	<p>【採用活動事業】</p> <p>【対象経費】 就職説明会や運転体験会開催、広告宣伝等、採用活動に要する費用</p> <p>【補助率】 1/2 (上限:バス・路面電車は1,000千円/事業者、タクシーは8千円×車両台数又は1,000千円/事業者のいずれか小さい額)</p> <p>【申請見込】 30事業者</p>
	千円 10,584	<p>【職場環境改善事業】</p> <p>【対象経費】 休憩室やシャワールームの整備・更新等、職場環境の改善に要する費用</p> <p>【補助率】 1/2 (上限:バス・路面電車は1,000千円/事業者、タクシーは8千円×車両台数又は1,000千円/事業者のいずれか小さい額)</p> <p>【申請見込】 30事業者</p>

### 3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
30,168	18,100	—	—	—	12,068

※物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（充当率 10/10）（交付金を超える部分については地方単独）

### 4 補助金の概要

#### （1）二種免許取得助成事業

##### ア 国の補助（既存メニュー）

交通DX・GXによる経営改善支援事業（補助率1/2）

##### イ 市の補助【今回】

補助率1/2（上限：バス200千円/人、タクシー100千円/人）

【根拠】補助率：国と同率（1/2）

上限額：二種免許取得費用（表1）を参考に設定

##### ウ 補助スキーム（イメージ）

国 (1/2)	長崎市 (1/2)
---------	-----------

表1 車種別の二種免許取得費用額

車種	現有免許	取得費用
大型 二種	大型免許	324千円
	中型免許 (8t 限定)	347千円
	普通免許	485千円
普通 二種	大型免許 中型免許 (8t 限定) 普通免許	268千円

二種免許取得費

※国と市の補助を超える分は事業者負担

## 4 補助金の概要

### (2) 採用活動事業

#### ア 国の補助（既存メニュー）

交通DX・GXによる経営改善支援事業（補助率1/2）（再掲）

#### イ 市の補助【今回】

補助率1/2（上限：バス・路面電車は1,000千円/事業者、

タクシーは8千円×車両台数又は1,000千円/事業者のいずれか小さい額）

【根拠】 補助率：国と同率（1/2）

上限額：事業者が過去に実施した採用活動費用実績（表2）を参考に設定

#### ウ 補助スキーム（イメージ）

国 (1/2)	長崎市 (1/2)
---------	-----------

採用活動費用

※国と市の補助を超える分は事業者負担

表2 事業者による過去の採用活動費用実績

バス	タクシー
2,200千円/年	1,800千円/年
平均 2,000千円/年	



バス運転体験会の様子

### (3) 職場環境改善事業

#### ア 国の補助

なし

#### イ 市の補助【今回】

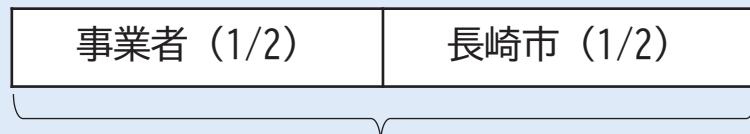
補助率1/2（上限：バス・路面電車は1,000千円/事業者、

タクシーは8千円×車両台数又は1,000千円/事業者のいずれか小さい額）

【根拠】 補助率：（2）採用活動事業と同率

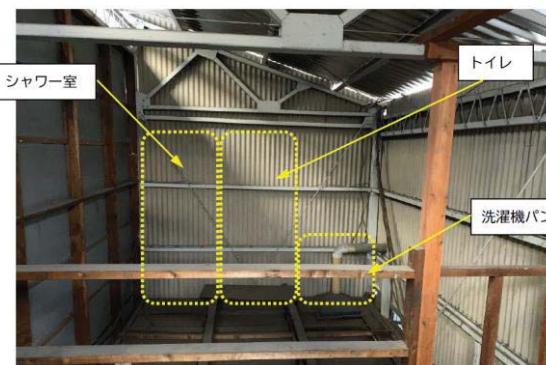
上限額：事業者が過去に実施した職場環境改善（シャワールーム等新設）の費用（約2,000千円）を参考に設定

#### ウ 補助スキーム（イメージ）



職場環境改善費用

施行前



施行後



職場環境改善の例

予算説明書【繰越明許費】				事業名	繰越明許額
ページ	款	項	目		
32~33	8 土木費	5 都市計画費	1 都市計画総務費	公共交通運転士確保等 支援費補助金	千円 30,168

## 1 事業費及び財源内訳

事業名	金額	財源内訳				
		国庫支出金 (※)	県支出金	地方債	その他	一般財源
公共交通運転士確保等支援費補助金	1月補正後 予算現額	千円 30,168	千円 18,100	千円 -	千円 -	千円 12,068
	支出予定額	-	-	-	-	-
	繰越明許額	30,168	18,100	-	-	12,068

※ 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（充当率 10/10）（交付金を超える部分については地方単独）

## 2 事業概要

燃油価格高騰等により、公共交通事業者の経営は厳しい状況が続いている中、今後も運転士を継続して確保することによって、路線バスの減便や最終便の繰上げなどの公共交通のサービス低下を抑制するため、交通事業者が行う二種免許取得助成や採用活動、職場環境改善に対して費用の一部を補助するもの。

## 3 繰越事由

物価高騰対策に係る事業が年度内に完了しない見込みであるため。

## 4 繰越事業の完了予定時期

令和9年3月末

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
24~25	8 土木費	5 都市計画費	1 都市計画総務費	3-1	【単独】都市交通対策事業費補助金 公共交通バリアフリー車両導入	千円 58,600

## 1 事業概要

燃油価格高騰等により、公共交通事業者の経営は厳しい状況が続いている中、今後も市民が安全・安心・快適に公共交通を利用できる環境づくりを進めるためには、老朽化が進む車両の更新と併せたバリアフリー化など公共交通サービス向上を図る必要がある。

のことから、通常車両よりも高額となるノンステップバスやユニバーサルデザイン（UD）タクシーなどのバリアフリー車両を導入する公共交通事業者に対し、国と協調して補助するもの。

また、車両の更新と併せて、公共交通のサービス向上や利用促進策など利用者に対する新たな還元施策を実施する場合には、補助の上乗せを行うもの。

## 2 事業内容

### (1) 公共交通バリアフリー車両導入 58,600千円

ア 対象者 長崎市内に本社を有する乗合バス及びタクシー事業者

イ 予算内訳

区分	予算額	内訳		
		対象車両	ノンステップバス	UDタクシー
補助金	千円 58,600	通常補助	1,400千円/台 (国と同額)	レベル1※ :150千円/台 レベル準1※ :100千円/台 (車両価格に対するバスの補助割合と同等) ※国が定める認定基準レベル
		上乗せ	補助額	新たな利用者還元施策に要する費用（割引き原資や広告費等）の額
			補助上限額	通常補助額
		申請見込	20台	11台（レベル1:4台、レベル準1:7台）
		補助額合計	56,000千円	2,600千円

## 3 財源内訳

事 業 費	財 源 内 訳				
	国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 58,600	千円 35,160	千円 -	千円 -	千円 -	千円 23,440

※ 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（充当率 10/10）

（交付金を超える部分については地方単独）

## 4 バリアフリー車両の概要

### (1) ノンステップバス

#### 各車種との比較



<段差 2段>



<段差 1段>



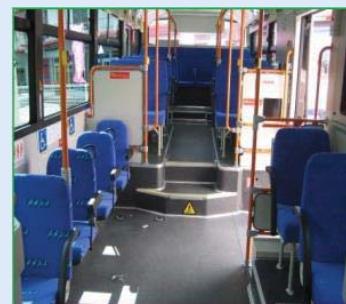
<段差なし>



<床段差が無くフラット>



<後部の床段差は1段>



<後部の床段差 2段あり>

出典：国土交通省資料

## (2) UDタクシー

UDタクシーとは、高齢者や車いす利用者、妊娠中の女性などの乗り降りをスムーズに行うため、乗降口や車内が広く、スロープや手すりが設置された、誰もが利用しやすいタクシー。

レベルごとの基準	車いすスペース				その他			
	長さ	幅	高さ	車内傾斜角	スロープ耐荷重	乗降用手すり	足元照明	乗降口明度差
レベル2	1300mm以上	750mm以上	1400mm以上	概ね水平	300kg以上	あり	あり	あり
レベル1	1300mm以上	750mm以上	1350mm以上	10度以下	300kg以上	あり	あり	あり
レベル準1	1100mm以上	630mm以上	1300mm以上	15度以下	200kg以上	なし	なし	なし



※より厳しい規定があるレベル2は、現在まで認定申請はなし

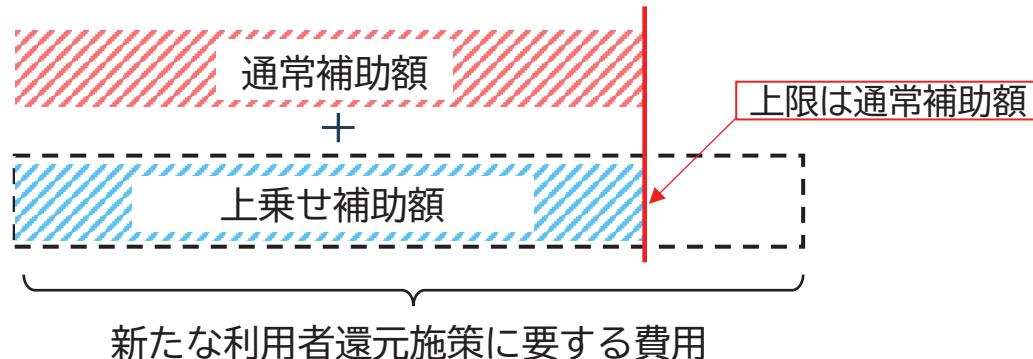
出典：国土交通省資料

## 5 上乗せ補助について

### (1) 概要

補助対象事業者が、車両の更新と併せて追加で昼間乗り放題定期券割引や乗車割引クーポンの発行など、公共交通の利用促進に向けた新たな利用者還元施策を実施する場合は、補助の上乗せを行うもの。

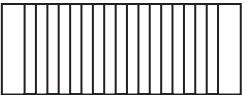
上乗せ補助は、利用者還元施策に要する費用（割引き原資や広告費等）とし、通常補助額を上限とする。



### (2) 利用者還元施策の例

昼間乗り放題定期券割引、ノーマイカーデー割引、乗車割引クーポン発行、乗継割引拡大、ポイント還元率拡大、1日乗車券割引、深夜臨時便の運行 など

#### «例» 1日乗車券の半額販売

通常販売額 600円	→	半額販売額 300円		$=$	割引き額合計 (上乗せ補助額) 300,000円
割引き額（割引き原資） 300円	$\times$	販売枚数 1,000枚			

## 6 補助スキーム

### (1) ノンステップバス

#### 【補助対象経費 (①-②)】



⑤市通常補助： 1台あたり1,400千円 ※国の補助と同額

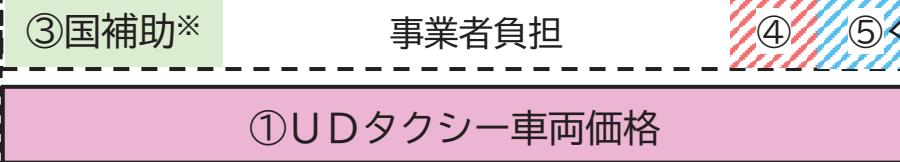
⑥市上乗せ補助： 新たな利用者還元施策に要する費用とし、通常補助額を上限とする

※国補助は、補助対象経費の1/2又は1,400千円の小さい額

①ノンステップバス車両価格	②通常車両価格	③補助対象経費の1/2 ( (①-②) ÷ 2)	④国補助額	1台あたりの市補助額		
				⑤市通常補助	⑥市上乗せ補助	⑦合計 (⑤+⑥)
24,550千円	18,800千円	2,875千円	1,400千円	1,400千円	1,400千円	2,800千円

### (2) UDタクシー

#### 【補助対象経費】



④市通常補助： 1台あたり150千円 (レベル準1は100千円)  
 ※車両価格に対するバスの補助割合(5%)と同等

⑤市上乗せ補助： 新たな利用者還元施策に要する費用とし、通常補助額を上限とする

※国補助は、補助対象経費の1/3又は600千円 (レベル準1は400千円) の小さい額

規定レベル	①UDタクシー車両価格	②補助対象経費の1/3 (① ÷ 3)	③国補助額	1台あたりの市補助額		
				④市通常補助	⑤市上乗せ補助	⑥合計 (④+⑤)
レベル1	3,100千円	1,033千円	600千円	150千円	150千円	300千円
レベル準1	2,300千円	767千円	400千円	100千円	100千円	200千円

予算説明書【繰越明許費】				事業名	繰越明許額
ページ	款	項	目		
32~33	8 土木費	5 都市計画費	1 都市計画総務費	【単独】都市交通対策事業費補助金 公共交通バリアフリー車両導入	千円 58,600

## 1 事業費及び財源内訳

事業名	金額	財源内訳				
		国庫支出金 (※)	県支出金	地方債	その他	一般財源
【単独】都市交通対策事業費補助金 公共交通バリアフリー車両導入	1月補正後 予算現額	千円 58,600	千円 35,160	千円 -	千円 -	千円 23,440
	支出予定額	-	-	-	-	-
	繰越明許額	58,600	35,160	-	-	23,440

※ 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（充当率 10/10）（交付金を超える部分については地方単独）

## 2 事業概要

燃油価格高騰等により、公共交通事業者の経営は厳しい状況が続いている中、今後も市民が安全・安心・快適に公共交通を利用する環境づくりを進めるためには、老朽化が進む車両の更新と併せたバリアフリー化など公共交通サービス向上を図る必要がある。

このことから、通常車両よりも高額となるノンステップバスやユニバーサルデザイン（UD）タクシーなどのバリアフリー車両を導入する公共交通事業者に対し、国と協調して補助するもの。

また、車両の更新と併せて、公共交通のサービス向上や利用促進策など利用者に対する新たな還元施策を実施する場合には、補助の上乗せを行うもの。

## 3 繰越事由

物価高騰対策に係る事業が年度内に完了しない見込みであるため。

## 4 繰越事業の完了予定時期

令和9年3月末